

JMMAF アマチュア MMA ルール

Sクラス

試合

試合時間

(1)2 ラウンド+EX1R で各ラウンドは 3 分とし、インターバルは 1 分とする。

判定

(1)判定は 10 ポイント・マスト・システムが採点の標準システムである。

(2)EXR は第 3 ラウンドとして位置付ける。よって EXR 終了時の判定は全ラウンドの合計点とする。(EXR のみの判定ではない)

反則

反則行為

- (1) 頭突き
- (2) 目潰し
- (3) 噛み付く
- (4) 相手に唾を吐く
- (5) 髪を引っ張る
- (6) フィッシュフッキング
- (7) 股間へのあらゆる攻撃
- (8) 相手の体の開口部や傷口、裂傷部に指を入れる
- (9) 小さな関節（手足の指）を巧みに操る攻撃（small joint manipulation）
- (10) 肘や前腕部による打撃攻撃
- (11)頭部・顔面への膝による打撃攻撃
- (12)相手に対する踏みつけ（スタンドポジションにおける足の甲への踏みつけを含む）
- (13) 脊椎や後頭部への打撃攻撃
- (14) 踵を使つての腎臓への蹴り
- (15) 喉へのあらゆる打撃、気管を掴む行為
- (16) 皮膚を掴む、つまむ、ひねる
- (17) 鎖骨を掴む
- (18)どちらか一方の選手でもグラウンドポジションになった場合の頭部・顔面に対する足による打撃攻撃（グラウンドポジションからの蹴り上げ等を含む）
- (19) フェンスや試合場を構成する部位を掴む
- (20) 相手のコスチュームやグローブを掴む
- (21) 試合場内で口汚い言葉を吐く
- (22) 相手の負傷の原因となるようなあらゆる非スポーツマン的行為
- (23) ブレイク中の相手への攻撃
- (24) レフェリーのチェックを受けている最中の相手への攻撃
- (25) ラウンド終了の合図が鳴らされたあとでの相手への攻撃
- (26) 相手との接触を避けるあらゆる消極的な姿勢（意図的または継続してマウスピースを落したり、怪我のふりをするなど）
- (27) 試合場外に相手を投げる
- (28) 審判員の指示を著しく無視する

- (29) 相手の頭や首をキャンバスに突き刺す（いわゆるスパイクング）
- (30) ヒールフック
- (31) 塗布物を塗布する行為
- (32) 試合前に審判員によるチェックを受けていないテーピングや競技用具の着用
- (33) 審判員に対する虚偽のアピール、言動
- (34) 試合用コスチューム、マウスピース、ファウルカップ等の競技用具を破損し、試合続行を不可能にする行為

体重階級

- (1) 試合は次の 11 階級において行われる。
 - 1) スーパーヘビー級 120.2kg 以上
 - 2) ヘビー級…………… 120.2kg 以下 93.0kg 以上
 - 3) ライトヘビー級… 93.0kg 以下 83.9kg 以上
 - 4) ミドル級…………… 83.9kg 以下 77.1kg 以上
 - 5) ウェルター級…… 77.1kg 以下 70.3kg 以上
 - 6) ライト級…………… 70.3kg 以下 65.8kg 以上
 - 7) フェザー級………… 65.8kg 以下 61.2kg 以上
 - 8) バンタム級………… 61.2kg 以下 56.7kg 以上
 - 9) フライ級……………56.7 kg 以下 52.2kg 以上
 - 10) ストロー級………… 52.2kg 以下 47.6kg 以上
 - 11) アトム級…………… 47.6kg 以下

- (2) 許容重量は認められない。

競技用具等

必ず着用しなければならない競技用具

- (1) オープンフィンガーグローブ
- (2) マウスピース
- (3) ムエタイカップ（金属製のカップを紐で固定するタイプのもの。プラスチック製やサポーター型の履くタイプのファウルカップの使用は認められない）（男子）
- (4) 男子競技者用コスチューム（MMA ショーツ、バーリトゥードショーツ、キックボクシングショーツ、スパッツ等）※全て膝上丈までの物とする（男子）
- (5) レッグサポーター
- (6) 女子競技者用コスチューム（ラッシュガード、セパレート、ワンピース等）（女子）

任意で着用できる競技用具

- (1) バンテージおよびテーピング
 - 1) 競技者はバンテージ、テーピングを使用する場合、拳の前面部（ナックルパート）にはテーピングを使用してはならない。ただし、指と指の間に細く切ったテープを通すことは認められる。
 - 2) バンテージ、テーピングの内部に芯、紙縊り、その他の異物を巻き込んではいならない。
 - 3) 拳に装着した状態で拳骨の形が確認できない厚さに巻いてはならない。
- (2) サポーター

競技者は、金属・プラスチック・硬質ゴム等の部品が使用されておらず、また、緩衝素材等によるパディングがされていないもので、審判員が競技に支障がないと認めるサポーター類を下肢（膝、足首）に着用することができる。

(3)アブドメンガード（女子）

(4)チェストガードまたは胸部のパッド（女子）

セコンド

セコンドの人数

(1)1名

提訴

(1)提訴は一切認められない。